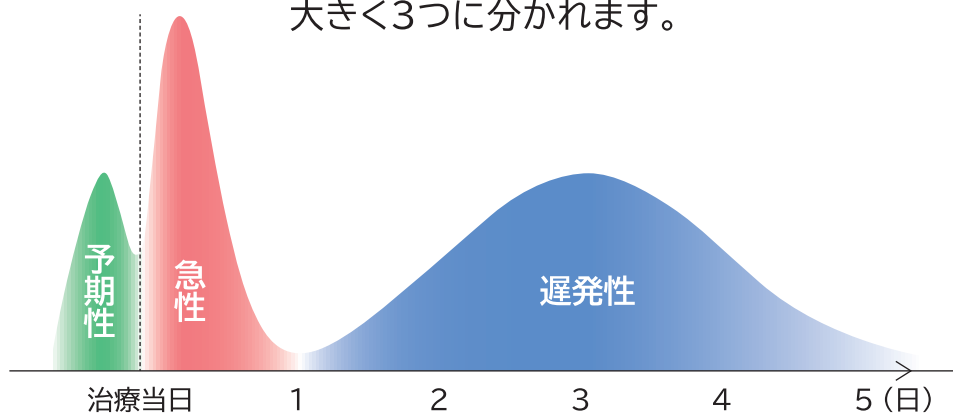


デカドロン錠を服用される患者さまへ がん治療による吐き気・おう吐をおさえるために

このお薬は、がん治療の副作用である吐き気・おう吐を抑える効果があります。

がん治療による吐き気・おう吐が起きるタイミングは大きく3つに分かれます。



急性の吐き気・おう吐 …治療直後から1日以内に発現

遅発性の吐き気・おう吐 …治療後1日後から起こり、2～5日つづく

予期性の吐き気・おう吐 …以前受けたがん治療による吐き気やおう吐の経験から2回目以降の治療前日や当日朝に発現

デカドロン錠は、主に遅発性の吐き気・おう吐をおさえるために、がん治療の後、数日間服用します。がん治療による吐き気・おう吐を初回から十分におさえることにより、予期性の吐き気・おう吐の出現を予防できます。

そのため、**必ず主治医の指示通りに服用してください。**

監修 新潟県厚生農業協同組合連合会
新潟医療センター 病院長

吉澤 弘久 先生

吐き気・おう吐をおさえるためのくすりの服用方法

がん治療ごとに吐き気の起こりやすさが異なり、デカドロン錠を服用する量や日数が決まります。他のお薬と併用する場合があります。

代表的な併用薬

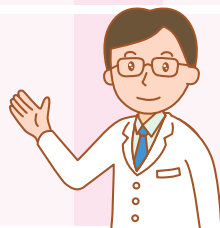
- ・NK₁受容体拮抗薬(アプレピタント、ホスアプレピタントなど)
- ・5HT₃受容体拮抗薬(グラニセトロン、パロノセトロンなど)
- ・オランザピン

おくすりの服用チェック

がん治療 1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	~次回治療
-------------	-----	-----	-----	-----	-------

がん治療前

がん治療ごとの吐き気の頻度	高度	<input type="checkbox"/>	NK ₁ 受容体拮抗薬 経口 または 注射	125	80	80			
			5HT ₃ 受容体拮抗薬						
			デカドロン		4 4	4 4	4 4		
			オランザピン	5	5	5	5		
	中等度	<input type="checkbox"/>	5HT ₃ 受容体拮抗薬						
			デカドロン		4 4	4 4			
		<input type="checkbox"/>	NK ₁ 受容体拮抗薬 経口 または 注射	125	80	80			
			5HT ₃ 受容体拮抗薬						
		デカドロン		4	4				



参考:日本癌治療学会制吐薬適正使用ガイドライン 2023年10月改訂

デカドロン錠4mg 1錠(デカドロン錠0.5mgの場合8錠)

患者さまの症状に応じて、服用するかどうか判断されます。

ここに示したのは、代表的な投与スケジュールです。

患者さまの症状に応じて異なるスケジュールになったり、別のお薬を用いたりする場合があります。

服用中の注意点

- 食事や水を取ることができないなど、吐き気・おう吐の症状がひどいときは、すぐに主治医を受診しましょう。
- 飲み忘れた場合、決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、1回分を服用してください。ただし、次の服用時間が近い場合は、飲み忘れた分は服用しないで、次の時間に1回分を服用してください。
- ワクチンの予防接種について主治医に相談してください。
- このお薬には一緒に服用する時に注意が必要なお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局で他のお薬を購入する場合には、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用について

デカドロン錠はステロイド剤に分類されるお薬です。ステロイド剤は、服用する期間によって起きやすい副作用が異なります。がん治療による吐き気・おう吐を抑えるための服用方法では、数日間の服用であるため、主に短期間服用でおきる副作用が起きることがあります。

次の症状に気づいたら、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。

●短期間(数日中)服用で起きることがある副作用

- 水をたくさん飲んでもおさまらない程、のどが乾く(血糖値の上昇)
(不快な時は氷を口に含むとよいでしょう。)



- 日常生活に支障が出る程の胃もたれ、みぞおち痛(消化器症状)



※特に糖尿病の患者さまはご注意ください。

- その他の副作用 手足のむくみ 寝つきが悪い、気分が高揚する

●長期間(数週間以上)服用を続けたときに起きやすい副作用

顔が
まるく
なる



腰や背中が痛む
(骨粗しょう症)

発熱、せき
(感染症)

にきび



強い
全身けんたい感



黄だん
(目や手足、
尿が黄色くなる)



B型肝炎

日本には、症状がないままB型肝炎ウイルスが体内に存在し続けている人が約100万人いるといわれています。デカドロン錠の服用により、ウイルスの増殖が活発になり、肝炎があらわれることがあります。肝炎の悪化や再発の危険性を下げるために、継続して血液検査が行われます。

この他にも気になる症状があらわれた場合やわからないことがある場合には、医師または薬剤師に気軽に相談してください。

保管等に関する注意点

- 光と高温多湿を避け、子供の手の届かないところに保管してください。
- このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人に譲ったり渡したりしないでください。